



## 夏の思い出がたくさんできたよ

今年で26回目を迎える町文化協会主催の「夏休みこども体験教室」が、そぴあしんぐうとシーオーレ新宮を会場に20教室で開催されました。子どもたちは物づくりやダンスをしたり、また花を生けたりなどさまざまなことに取り組み、夏休みの楽しいひと時を過ごしました。



▲ひまわりを生けました(成和御流家元お華塾)



▲アイドル気分楽しくダンス!(リトルプリンセス)

## 交通安全への尽力に感謝

7月9日、長年にわたり地域の交通安全活動に尽力されている交通安全指導員の中島政則さんが、志免町総合福祉施設シーメイトで開催された「第22回粕屋地区交通安全大会」でその功績をたたえられ、表彰を受けました。

通学路での見守り活動や啓発活動など、地域の安全のために長年取り組まれてきた中島さんのご尽力に、町として心より感謝を申し上げます。



▲今後のご活躍も期待しています

## 全カプレーで堂々の4位入賞!

7月5日、那珂川市民体育館で「福岡県小学生夏季バドミントン大会筑前地区予選会」が開催されました。白熱した試合が繰り広げられる中、町スポーツ協会所属新宮ジュニアバドミントンクラブの樋口悠生さんが大健闘し、6年生男子シングルス第4位という好成績をあげました。樋口さんは7月26日に開催された県大会にも出場しました。



▲次の試合も頑張ります!

## 一手に込めた情熱！囲碁大会で全国へ

6月15日、日本棋院九州総本部(福岡市)で「第46回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会・九州地区福岡大会代表決定戦」が開催されました。新宮中学校3年の樋口舜蓮さんは、全勝優勝を果たし、7月28日、29日に東京都で行われる全国大会への切符を手に入れました。樋口さんは「中学3年生なので、最後の大会になります。4回目になりますが、念願のベスト8をめざしたい」と抱負を語りました。



▲決意を新たに次の大会も頑張ります

## 「新宮町歴史散策」寄贈へ



▲住民のみなさんの更なる郷土愛につながれば嬉しいと語っていました

7月1日、令和6年度まちづくり活動助成金の交付を受け、町づくり活動支援団体「新宮町歴史と自然保護の会」が制作した冊子「新宮町歴史散策」が町へ寄贈されました。初版から20年が経過し、5年の歳月をかけて新たに制作されたものです。

冊子では、町は鎖国時代から国際交流の窓口でもあった相島をはじめ、下府から上府へ広がる豊かな平野、三代から立花山そして的野へと続く森林地帯といった地形を活かし太古より人が生活していたという仮説を立て、土地ごとに、伝承や歴史を貴重な写真とともに紹介しています。

「新宮町歴史散策」は町立図書館や歴史資料館でご覧になれます。

## ユーモアのなかの大切なメッセージ

7月5日、そぴあしんぐうで「町民のつどい」を開催しました。このつどいは、県下で行われている「同和問題啓発強調月間」、全国で展開される「社会を明るくする運動強調月間」および「青少年の被害・非行防止全国強調月間」の3つの運動月間をまとめて「三月間」と称し、開催しています。

みえ人權教育・啓発研究会の代表を務める松村智広さんを講師に迎え「へこたれへん～ひとはきつとつながれる～」と題した記念講演を行いました。松村さんはユーモアと熱意を込めた語り口で、自身の実体験を交えながら、人と人とのつながりの大切さについて語りました。



▲心を込めて講演する松村さん



## 薬師堂にきらめく 竹灯籠の灯り

7月7日、立花口地区の竹林整備や地域振興などを目的に活動しているまちづくり活動支援団体「Tachibana All Powers (TAP)」主催の「タチバナノタナバタ～夜の薬師堂 竹灯籠」が開催されました。

七夕にちなんで、敷地内の階段には天の川をモチーフにした竹灯籠が並べられたり、短冊も飾られたりしました。また隣接する「独鈷寺薬師堂」では、年に一度の薬師如来のご開帳も行われました。

約1,500個の竹灯籠の織り成す神秘的な空間に、訪れた多くの人が酔いしれていました。



▲竹灯籠のやさしい灯りで美しい天の川を表現

## 中学生のお兄さんに 絵本を読んでもらったよ

7月5日、町立図書館の幼児向けおはなし会で、新宮中学校の生徒が図書館ボランティアのピーターラビットの会と一緒に絵本の読みきかせを行いました。

今回が3回目の参加となった生徒は、布の絵本の読みきかせに初めて挑戦し「高校生になっても機会があればまた参加したい」と話していました。

中学生によるおはなし会は、新宮中学校と新宮東中学校との交替で年3回程度行っています。おはなし会の読み手に興味のある中学生は、学校司書へ相談してください。



▲布の絵本をみんなで楽しみました

## 心をひとつに！ボッチャ大会優勝

6月21日、クロスパルこがで「第4回糟屋地区身体障がい者福祉協会主催 ボッチャ大会」が開催されました。1市4町(古賀市、新宮町、篠栗町、粕屋町、須恵町)の身体障がい者福祉協会のみなさんが参加し、交流を深めました。

町身体障がい者福祉協会は、新宮町A・Bともにグループリーグを突破し、須恵町Bとの激戦を制した新宮Aが、見事2連覇を成し遂げました。

身体障がい者協会では、仲間づくりを大切に活動しています。興味がある人は、一緒に活動し、仲間の輪を広げましょう。

**1位：新宮町A、2位：須恵町B、3位：古賀市A、4位：新宮町B**



▲大会参加者のみなさん

## 暮らしと税を学ぶ

子どもたちに税金の仕組みや役割を知ってもらうために、各小学校で町税務課職員による租税教室を行っています。もしも税金がなくなってしまうたら、学校や救急車、信号、ごみの収集など、普段当たり前のように利用している公共サービスがなくなってしまいます。子どもたちは、身近な話題をとおして税金の使い方を学習しました。

授業の最後には1億円のレプリカに触れ、約10キロにもなる重さと札束に子どもたちはとても驚いていました。



◀1億円の重さにびっくり！(立花小)



▲クイズ「未成年の子どもに税金はかかる？」(立花小)

## 新宮町から世界へ出発！

7月14日、JICA((独)国際協力機構)青年海外協力隊として派遣される樋口敬さん(町内在住)が、桐島町長を表敬訪問しました。

樋口さんは、7月から2年間キリバスの品質管理検査課に派遣され、インフラ建設事業などが建築基準に沿って作られているかなどを審査管理し、キリバスの若手職員たちへの能力向上のため助言や支援を行います。

樋口さんは「これまでの自身の経験を活かしながら、要望に応えられるよう努めたい」と意気込みを語りました。



▲樋口さん(右)の世界での活躍を期待しています

## 長年の努力が実を結んだ受賞

7月10日、町文化協会所属の啓峰吟詠会の講師である阿部安世(宗峰)さんが桐島町長を表敬訪問しました。阿部さんは4月に山口県で行われた「第19回吉田松陰顕彰吟詠コンクール全国大会」に出場し、文部科学大臣賞を受賞されました。この大会には、全国各地から150人もの吟詠家が参加し、阿部さんは15回目の挑戦で、ついに受賞をすることができました。

阿部さんは「声が出る限り吟じていきたい。そして一人でも多くの人に詩吟を広めていきたい」と今後の決意を語りました。



▲詩吟を始めて50年、これからの活躍も期待しています